

2022年度 第9回サンマ中短期漁況予報

1. 今後の見通し

予測期間：2022年12月上旬から12月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量

来遊量は少なく終漁。

(2) 漁場

道東海域に漁場は形成されない。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

12月上旬～12月中旬は、断続的な来遊となる。魚群の多くは、三陸海域の沖合を南下する。

(2) 漁場

12月上旬～12月中旬は、三陸南部に漁場が形成される。12月下旬は、漁場は形成されない。

3) 常磐海域

(1) 来遊量

12月上旬～下旬は、断続的な来遊となる。

(2) 漁場

12月上旬～中旬は、常磐北部に漁場が形成される。12月下旬は、漁場は形成されない。

2. 予測の概要

海 域		12月上旬	12月中旬	12月下旬
道東海域	来遊量			
	動向			
	漁 場			
三陸海域	来遊量	— →	— →	
	動向	断続的	断続的	
	漁 場	三陸南部	三陸南部	
常磐海域	来遊量	— →	— →	— →
	動向	断続的	断続的	断続的
	漁 場	常磐北部	常磐北部	

3. 漁況の経過概要（11月中旬）

1) 道東海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した道東海域における来遊量の水準は、前年を上回ったが、11月上旬を下回り、低位水準であった。日別CPUE（1網あたりの漁獲量）から判断すると、道東海域における来遊量は、期前半に増加した。

道東海域では、落石南沖の20海里～釧路南沖の20海里に漁場が形成された。

主漁場は道東海域より東～南側の公海であった。1日1隻あたりの漁獲量は、最高で12トン程度であり、11月上旬よりも少なかった。CPUE（1網あたりの漁獲量）は11月上旬より減少し、前年より少ない水準であった。これらのことから、引き続き魚群は沖合に分布しており、分布量は少なかった。また11月上旬に引き続き、オホーツク海の羅臼沖に漁場が形成されたが、1日1隻あたりの漁獲量は、最高で7トン程度であり、11月上旬よりも少なくなった。

(2) 漁場

道東海域では、落石南沖の20海里～釧路南沖の20海里に漁場が形成された。11月11日夜と15～16日夜に大型船数隻と小型船10隻程度操業し、大型船で最高11トン、平均1.8トン漁獲した。

主漁場は、道東海域南東側の公海の、落石南東沖の300海里、落石東南東沖の280～320海里であった。またオホーツク海の羅臼沖にも漁場が形成された。

落石南東沖の300海里の漁場水温16～19℃では、大型船1～10隻程度操業し、大型船で最高3.5トン、平均2.0トン漁獲した。

落石東南東沖の280～320海里の漁場水温15～17℃では、大型船5～20隻程度操業し、大型船で最高12トン、平均4.0トン漁獲した。

オホーツク海の羅臼沖の漁場水温10～11℃では、11月11日夜と18日夜に、大型船6隻程度と小型船が操業。大型船で最高7トン、平均2.4トン漁獲した。

(3) 魚体

道東海域では、体長24～30cmモードであった。体重は50～100g台が主体であった。道東海域南東側の公海では、体長25～29cmモードであった。体重は60～110g台が主体であった。またオホーツク海の羅臼沖では、体長25～30cmモードであった。体重は50～100g台が主体であった。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

三陸海域では、前年同様、漁場は形成されなかった。主漁場は、三陸海域より東～東南東側の公海であった。1日1隻あたりの漁獲量は、最高で29トン程度であった。

(2) 漁場

三陸海域では、漁場は形成されなかった。主漁場は、三陸海域より東～東南東側の宮古東沖の210海里、金華山東480～東南東500海里であった。

宮古東沖の210海里の漁場水温16℃では、15日夜に大型船2隻操業し、0.2トン程度漁獲量した。

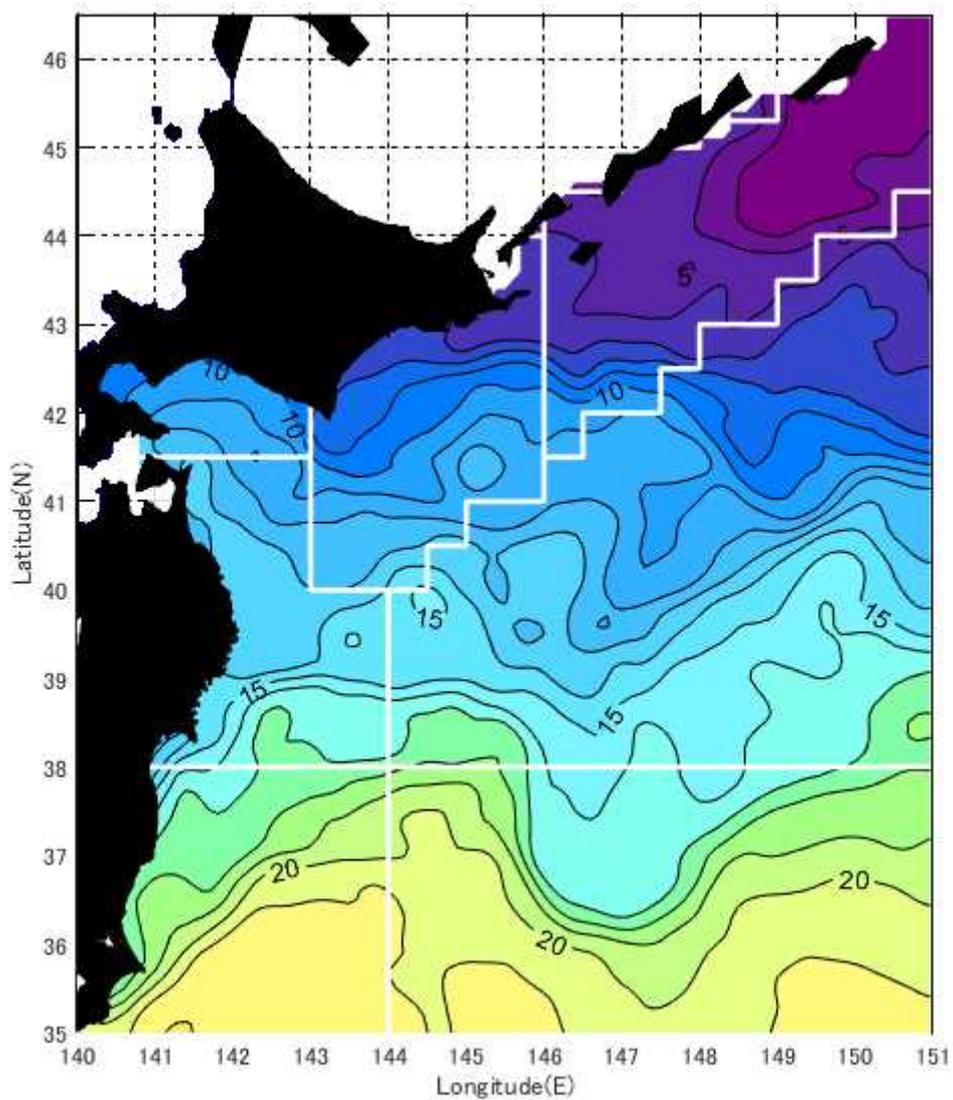
金華山東480～東南東500海里の漁場水温16～19℃では、15日夜以降、大型船10～30隻程度操業し、大型船で最高29トン、平均4.6トン漁獲した。

(3) 魚体

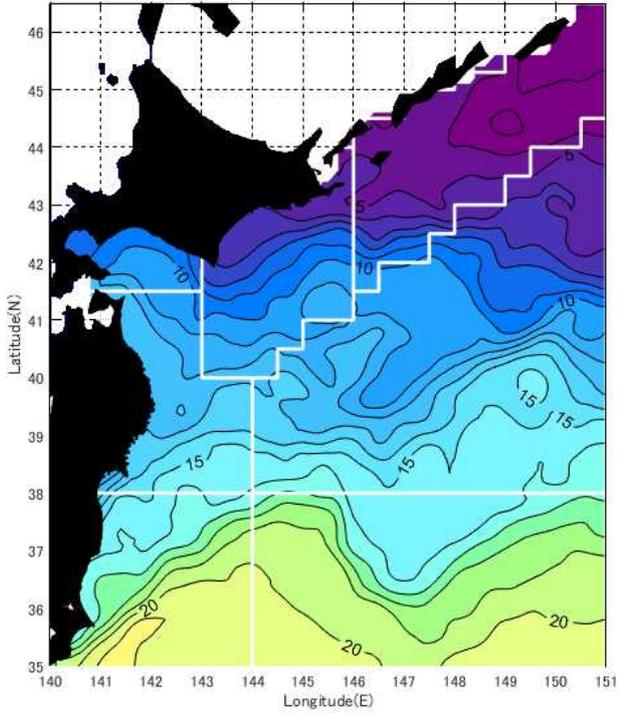
三陸海域よりも東～東南東側では、体長26～28cmモードであった。体重は60～110g台が主体であった。

4. 予測水温分布図

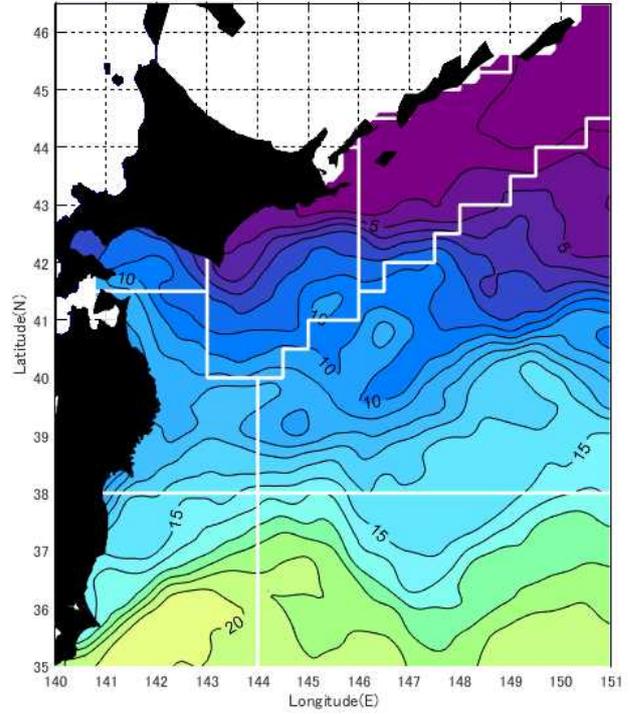
12月上旬予測表面水温分布図



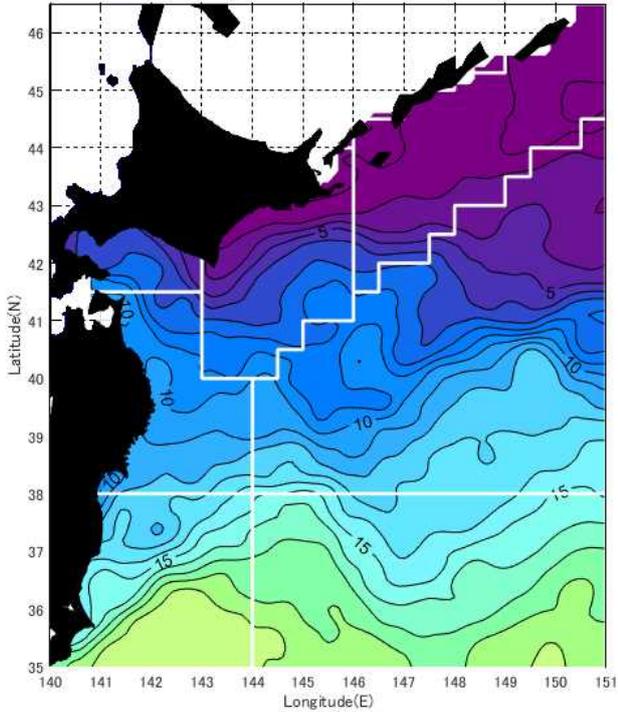
12月中旬予測表面水温分布図



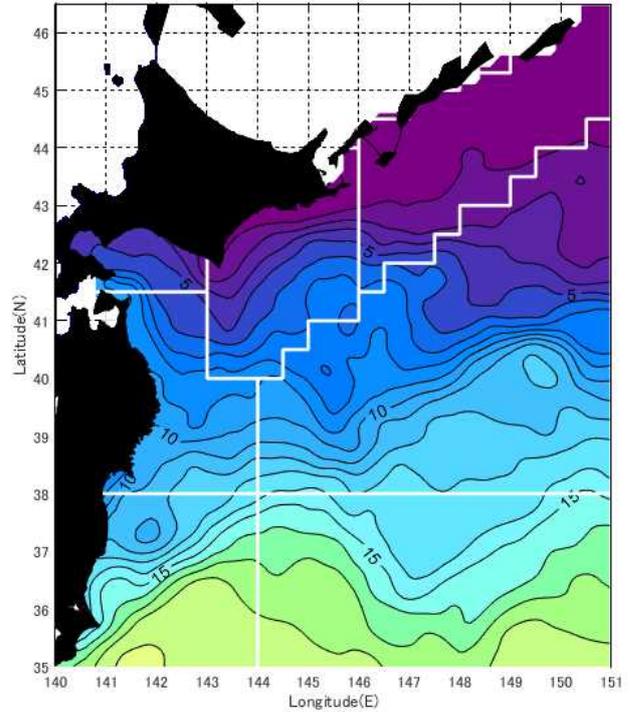
12月下旬予測表面水温分布図



1月上旬予測表面水温分布図



1月中旬予測表面水温分布図



参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
--	--